



絵手紙を送ろう



日にち 8月21日
場 所 中央公民館本館

タイボキッズクラブ、キッズアートクラブの仲間たち約30人が集まって施設のおじいさん・おばあさんへ絵手紙を描いて送りました。

季節の野菜や果物の絵に言葉を添えて、心を込めて一生懸命描きました。手紙を受け取ったおじいさん、おばあさん、喜んでくれてるかなあ。

親子野鳥観察



日にち 8月19日
場 所 名古屋市野鳥観察館

名古屋市野鳥観察館で藤前干潟の野鳥を観察しました。遠くの豆粒ほどにしか見えない野鳥も、望遠鏡からのぞくと目の前にいるみたいでした。毛づくろいをしたり、水面に顔を突っ込んで餌を探したり、干潟でのいきいきとした野鳥の姿を見ることができました。



51年の豪雨

「災害のはなし」
阿久比町の災害の記録の中で最も多いのは風水害です。台風や前線の通過による大雨で阿久比川水系の河川がはらんすることが原因の一つとなっています。
昭和三十四年九月二十六日に上陸した「伊勢湾台風」のとき、この地方は台風の進路の東側に入ったため各地とも風と雨が強くなり河川は急に水かさが増しました。運悪く満潮時と重なったため河川付近では、いたるところで堤防が決壊し大きな被害となりました。この台風による阿久比町の被害は犠牲者七人、重傷者四人、軽傷者百七十三人、家屋の全



伊勢湾台風の被害

壊八十戸・半壊二百二十九戸でした。昭和五十一年九月十二日、「台風十七号」による長雨で町内のため池や川の水が増え続け、そこへ土砂降りの雨が降り、蟹田川・前田川・矢勝川の堤防が次々と決壊しました。被害があまりにも大きいため自衛隊にも協力をしてもらい、土のう作りが行われ、日本赤十字の人たちによる炊き出しも行われました。この水害だけがをした人は一人・壊れた家四戸・床上浸水百八十二戸・床下浸水百五十二戸でした。

(参考 『あぐいのあゆみ』)

子どもに伝えたい
あぐいのむかし

23